

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

平川市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県平川市

### 3 地域再生計画の区域

青森県平川市の全域

### 4 地域再生計画の目標

平川市は平成 18 年 1 月 1 日に旧平賀町、旧尾上町、旧碓ヶ関村の二町一村が合併し誕生した市である。3 町村合算の人口は、1980 年度の 38,979 人をピークとし、以降減少を続けており、2020 年 1 月末の住民基本台帳は 31,063 人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040 年には 22,631 人まで減少するとされている。

自然増減の推移を見ると、平成 7 年(1995 年)以降、平成 25 年(2013 年)まで、プラスとなったことがない。平川市の自然増減数は年ごとに振幅があるが、平成 7 年(1995 年)の△35 人から、平成 25 年(2013 年)には△262 人まで減少幅が拡大傾向で推移しており、平成 30 年(2018 年)には△298 人の自然減となっている。

社会増減を見ると、平成 7 年(1995 年)には、転入 962 人に対し転出が 1,091 人で、差し引き 129 人の社会減(転出超)だった。平成 25 年(2013 年)では、転入が 660 人、転出が 763 人で、103 人の社会減となっている。過去の推移を見ると、平成 12 年(2000 年)と 13 年(2001 年)にはわずかながら社会増(転入超)を記録しており、平成 30 年(2018 年)でも 49 人の社会増となったが、今後は再び社会減に転じることが想定される。

人口の減少は、消費市場の規模縮小による景気低迷だけではなく、地域での人材不足などの諸問題を生み出しており、こうした地域経済の縮小は市民の経済力低下につながるとともに、少子高齢化の進展や若者世代の流出も含めて、地域社会の基

盤維持に大きな影響を与えている。

上記の課題に対応するため、人口減少を克服し、地域経済の創生を成し遂げるため、「地域に根ざす安定したしごとづくり」「いつまでも住み続けたいまちづくり」「若者世代の希望がかなうまちづくり」「健康で心穏やかに暮らせるまちづくり」の4つの政策分野において、市民と危機感と問題意識を共有しながら、国、青森県や近隣自治体と連携し、人口、経済、地域社会の課題に一体感を持ち持続的に取り組み、将来にわたり住み続けたいと思える持続可能なまちづくりを進める。

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度 )	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	1人当たりの市民所得 ※市町村民経済計算	235万円 (H28)	260万円	基本目標1
イ	社会増減数 ※人口移動統計	△380人 (H26-30累計)	△190人 (R2-R6累計)	基本目標2
ウ	人口千人当たりの出生率 ※人口移動統計	5.1‰ (H30)	5.1‰	基本目標3
エ	平均寿命 ※市町村別生命表	男性78.1年 女性85.7年 (H27)	男性80.8年 女性87.0年	基本目標4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

平川市まち・ひと・しごと創生事業

- ア 地域に根ざす安定したしごとづくり事業
- イ いつまでも住み続けたいまちづくり事業
- ウ 若者世代の希望がかなうまちづくり事業
- エ 健康で心穏やかに暮らせるまちづくり事業

## ② 事業の内容

### ア 地域に根ざす安定したしごとづくり事業

市内への定着や市外からの移住などを促進するため、生活の基盤となる安定したしごとづくりを目指し、市の基幹産業である農業を支える人材の確保・育成、観光客の目線に立った仕組みづくり、異業種・同業種・産学官金の連携や新規企業者・新商品開発支援の充実等、それぞれの特徴・強みを生かした多様で魅力あふれるしごとづくりを推進する。

#### 【具体的な取組】

- ・地域農業を支える人材の確保
- ・地域資源を活かした観光コース及び商品の開発、広域観光推進 等

### イ いつまでも住み続けたいまちづくり事業

市の活力ある将来を創りあげるため、まちの魅力を多くの人たちに伝え、訪れる人たちが魅力を感じ、暮らしてみたい、いつまでも住み続けたいと思うまちをつくることを重要視し、SNSを活用した平川市の魅力の発信、移住・定住のための魅力的な生活環境づくり、関係人口の創出・拡大などを推進し、誰もが活躍できる社会環境づくりを進める。

#### 【具体的な取組】

- ・SNS等を活用した情報発信
- ・地域コミュニティ活動の支援 等

### ウ 若者世代の希望がかなうまちづくり事業

若い世代の希望が叶うよう、きめ細やかなサービスの提供に努め、結婚・妊娠・出産・子育てなどを切れ目なく支援するとともに、「住みたい・産みたい・育てたい」と感じる環境づくりを進め、「子育てしやすさナンバーワン」を目指す。また、市民が生まれ育った平川市へ愛着と誇りを持ち、平川市の将来のまちづくりに関心を高めるための取り組みを推進する。

**【具体的な取組】**

- ・妊娠・出産にかかる経済的支援
- ・未来を担う若者世代の育成 等

**エ 健康で心穏やかに暮らせるまちづくり**

平均寿命が全国平均を下回っているという課題を克服するため、食生活や運動を含めた生活習慣の見直し、健康診断受診率の向上等、市民一人ひとりの健康に対する意識改革や総合的な取り組み、そして市民が気軽に運動できる環境づくりを市民と関係団体、行政が一体となり、市民の健康づくりを推進する。

**【具体的な取組】**

- ・自主的な健康づくり活動の推進
- ・生活習慣病の発症予防と重症化予防 等

※なお、詳細は第2期平川市総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

5,000,000円（2020年度～2024年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）**

毎年度6月を目途に、外部有識者で構成する「平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、速やかに平川市公式WEBサイト上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで

**5-3 その他の事業**

**5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置**

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

**6 計画期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで